

2026年度 医療の質 可視化プロジェクト

参加費
無料

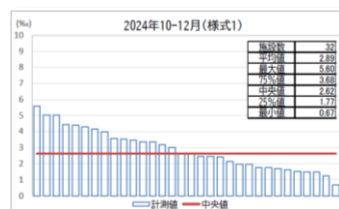
- 院内データを活用して、自院の診療・ケアの質を可視化するプロジェクトです。
- 病院の機能・規模等にかかわらず、さらなる医療の質の向上を目指すオールジャパンの取組です。

本プロジェクトの流れ



計測・データ提出

DPCデータなどの院内データを使って指標を計測し、提出します。



フィードバック

提出データをグラフ・表で視覚化。経時変化や他施設比較から現状を把握できます。

質改善の契機となるセミナーも開催予定!

集計期間 (DPC退院患者調査の提出スケジュールにあわせた区分です)		提出期限
25年	10~12月	26年10月30日(金)
26年	1~3月・4~5月*	

*26年度診療報酬改定の影響をふまえ、今年度は改定前の定義・手順で運用するため、集計期間を調整しています。今年度は、26年6~9月のデータ計測・提出は不要です。

「質」の努力を
見える形へ

25年度は
720病院が参加!

参加病院
募集中!!

申込期限が迫っています!

お申込期限

9月30日(水)

https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika_project_2026

【参加対象】指標を用いた取組に関心のあるすべての病院
(DPC対象病院か否かを問いません)



今年度プロジェクトで扱う指標(9指標)

- 本指標は、診療報酬制度に準拠した定義・手順で運用するため、DPCデータを使って計測可能です。
- 国が指定する「病院情報の公表」に対応している場合は、同じ手順で計測できます。

3テーマ・9指標

医療安全	①転倒・転落(件数), ②転倒・転落(3b以上), ③肺塞栓の予防(リスクレベル「中」以上)
感染管理	④血培2セット, ⑤広域抗菌薬使用時の細菌培養, ⑥予防的抗菌薬投与
ケア	⑦褥瘡発生(d2以上), ⑧入院早期の栄養アセスメント(65歳以上), ⑨身体的拘束

① 計測手順書は以下よりご覧いただけます

複数のデータソースからひとつの手順書を選んで計測してください(一部指標を除く)

https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika_project_2026/#keisoku



よくある質問

Q. すべての指標を計測できなくても、申込は可能ですか？

A. はい。計測可能な指標が一つでもあれば、参加可能です。

Q. DPCデータそのものを提出すればよいですか？

A. いいえ。DPCデータそのものの提出は受け付けていません。院内で集計後、分子・分母の値を記入した計測ワークシート(Excel:申込後に配布)をご提出ください。

Q. DPCデータ以外の病院でも参加できますか？

A. はい。DPCデータ以外のデータ(サーベイランスデータ)を用いた計測手順書もご提供しますので、ぜひご参加ください。

Q. 本プロジェクトは病院機能評価の認定と関連づけられますか？

A. 本プロジェクトへの参加自体は、病院機能評価の評点や認定の可否に直接関係しません。ただし、本プロジェクトを通じて質指標を測定・分析し、その結果を医療の質改善に活用することは、評価対象となる取組に該当します。したがって、本プロジェクトは、病院機能評価への対応を進めるうえで有用です。



25年度プロジェクトの集計結果を公表中です

① 集計結果報告書

病床規模別の棒グラフ・急性期機能などの病院機能別の箱ひげ図などを掲載

② 層別集計表

病院の属性情報別(地域・開設主体など)に基本統計量を集計



https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika_project_2025/#report